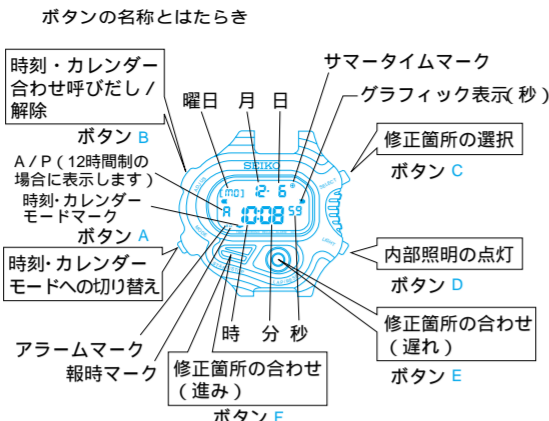
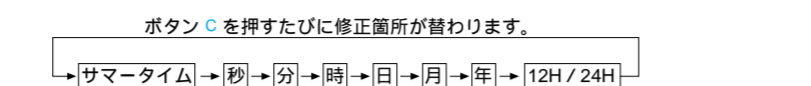


この時計は、予め目標タイムを入力しておく... タグタイムと実際のにかかったラップタイムとの差を表示することができ...



ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。ボタンBを1回押すとサマータイム表示が点滅し「サマータイムの選択」状態になります。

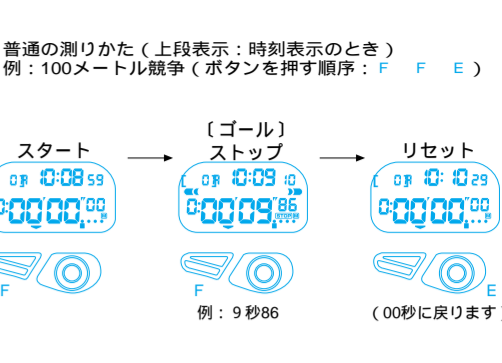
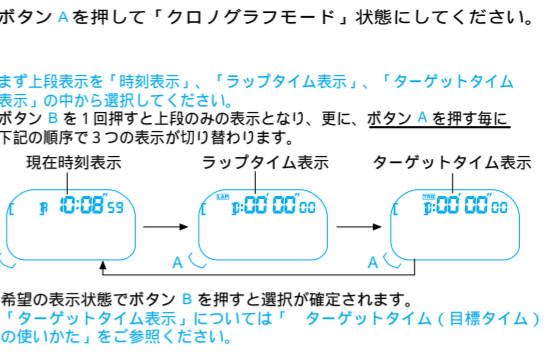
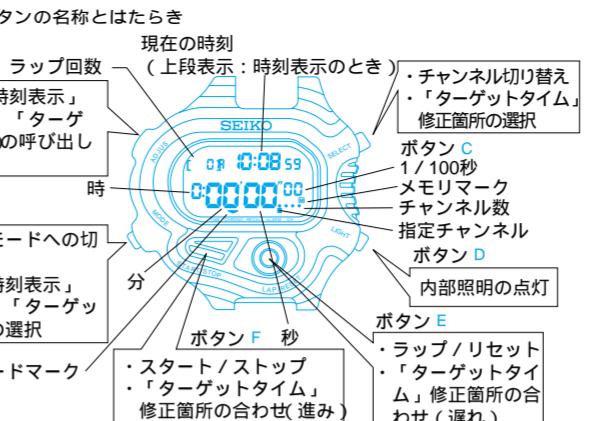


「秒」の点滅状態で、時報と同時にボタンEまたは、Fを押すと「00」に合います。秒表示が30-59秒のとき、ボタンEまたは、Fを押すと1分繰り上がって「00」に合います。

「時刻・カレンダー合わせ」が終了したら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2-3分後は「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。

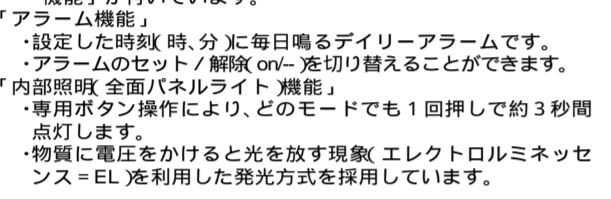


- 1/100秒単位、10時間計測のストップウォッチです。最大計測時間は、9時間59分59秒99です。ターゲットタイムが設定できます。ラップタイムは、現在時刻表示、ラップタイム表示、ターゲットタイム表示の選択ができます。



「時刻・カレンダー機能」・「クロノグラフ機能」・「分割メモリー機能」

- 1/100秒単位で計測できる10時間計測のストップウォッチ機能です。ターゲットタイム（目標タイム）と実際にかかったラップタイムとの差を表示することができ...



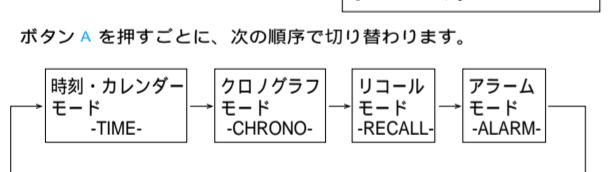
「アラーム機能」・「内部照度 全面パネルライト 機能」



「分割メモリー機能」



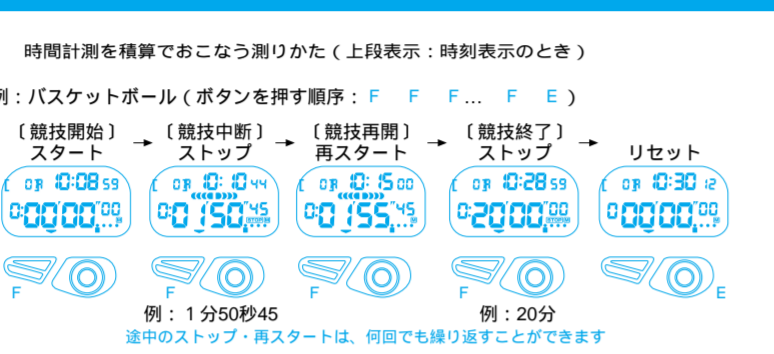
「クロノグラフモードマークが点滅している場合は、ストップウォッチが計測中であることを示しています。」



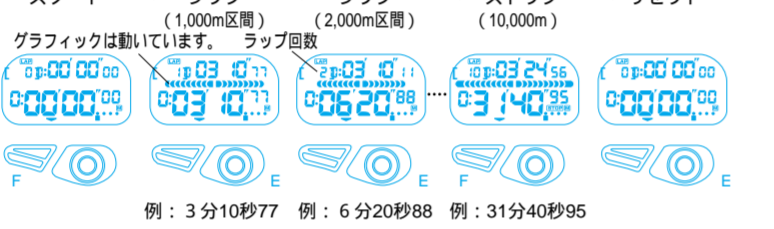
ボタンAを押すごとに、次の順序で切り替わります。時刻・カレンダーモード -> クロノグラフモード -> リコールモード -> アラームモード



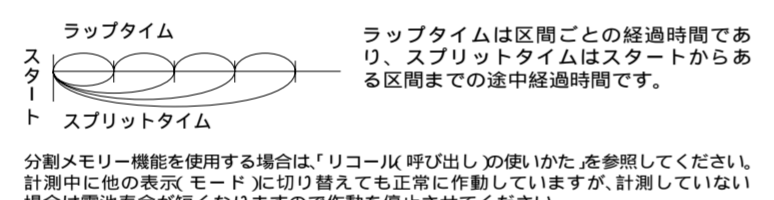
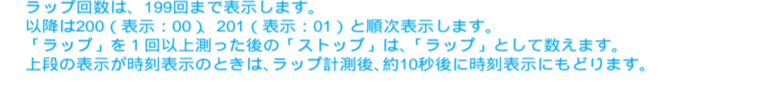
「クロノグラフ機能」



ラップタイムの測りかた（上段表示：ラップ表示のとき）

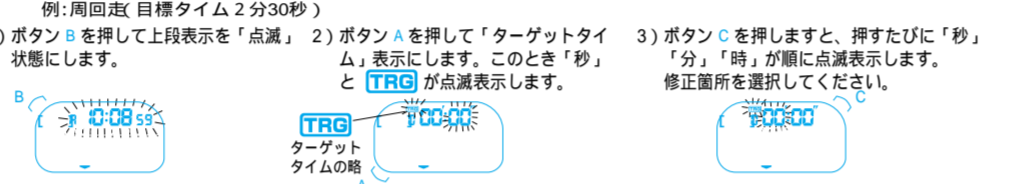


上段の表示は、ボタンEを押して約10秒間ラップ計測結果を表示し、その後計測状態にもどります。

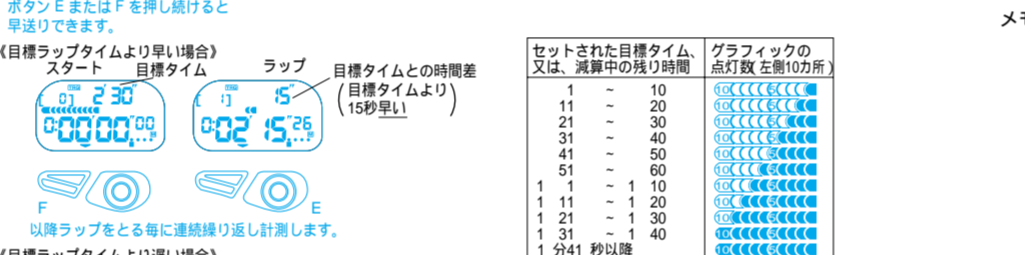


分割メモリー機能を使用する場合は、「リコール」呼び出しの使いかたを参照してください。計測中に他の表示モードに切り替えても正常に作動していますが、計測していない場合は電池寿命が短くなりますので作動を停止させてください。

ターゲットタイム（目標タイム）の使いかた。目標ラップタイムをセットしてクロノグラフを使用すると、ラップタイム測定時、目標ラップタイムと実際にかかったラップタイム差を自動計算し、その値を表示します。



1) ボタンBを押して上段表示を「点滅」 2) ボタンAを押して「ターゲットタイム」表示にします。このとき「秒」と「TRG」が点滅表示します。

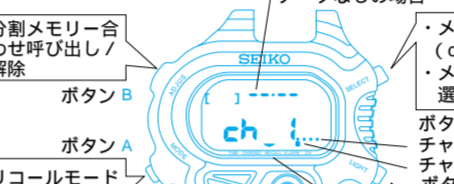


セットされた目標タイム、または、計算中の残り時間と、グラフの点灯数(10箇所)の対応表。

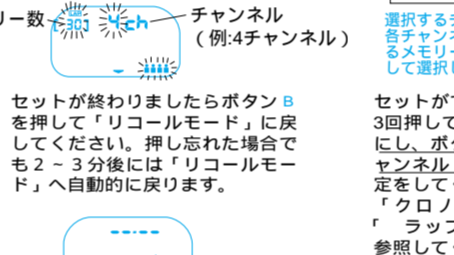
目標タイムを過ぎますとタイムアップ音が鳴りますが、以降ラップを取りませんと鳴りません。上段の目標タイムとの時間差は、ラップ計測後約10秒間表示され、その後目標タイムからの減算表示にもどります。

「リコール（呼び出し）の使いかた」

- 計測途中、計測後（ストップ状態）でもメモリーの呼び出しはできます。計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません。



分割メモリー機能の使いかた。ボタンAを押して「リコールモード」状態にしてください。ボタンBを押すと分割メモリー合わせ状態（メモリー数・「メモリ」チャンネル）が点滅表示します。



チャンネル数とメモリー数の関係表。

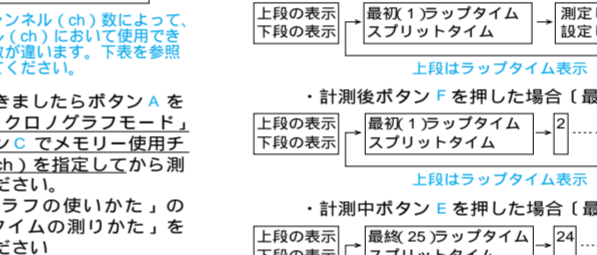
チャンネル数表示 メモリー数 (使用できるメモリー数) 使用できるチャンネル(ch)

「リコール（呼び出し）の使いかた」

- 測定が終わり（スタート/ストップ）したらボタンAを押して「リコールモード」にしてください。



測定中にボタンAを押して「リコールモード」(呼び出し)にした場合は、下のよう最新の計測結果が表示されます。



ボタンAまたはボタンFを押すごとに次の順序でメモリーされたラップ/スプリットタイムを表示します。

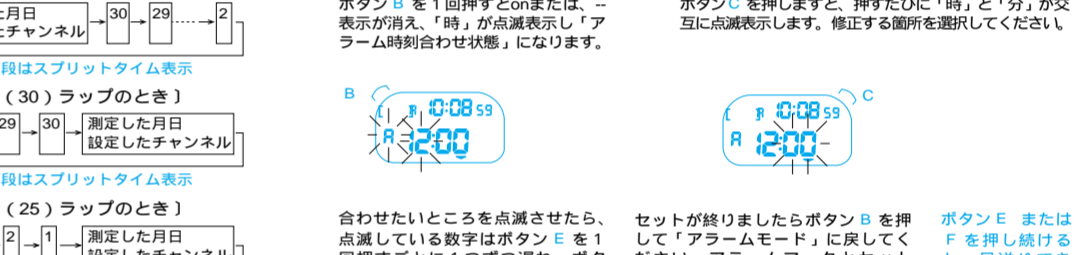


「アラームの使いかた」

- デイリーアラーム付きです。アラームのセット(on) / 解除(---)の切り換えができます。



アラーム時刻の修正箇所を選択してください。アラーム時刻の修正箇所を選択してください。

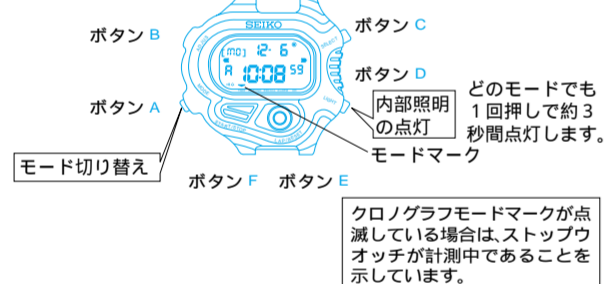


ボタンAを押して「アラームモード」状態にしてください。ボタンBを1回押すとonまたは、表示が消え「時」が点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。



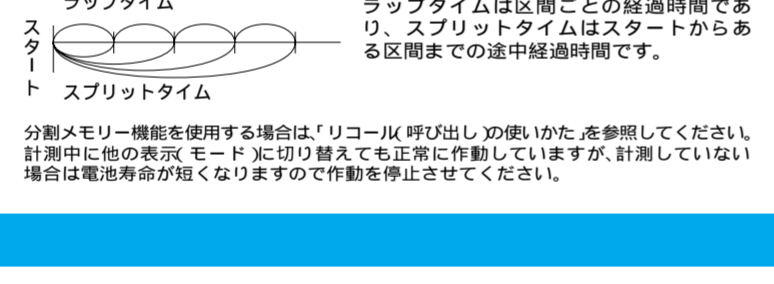
ボタンの名称と表示の切り替え

例：時刻・カレンダーモード



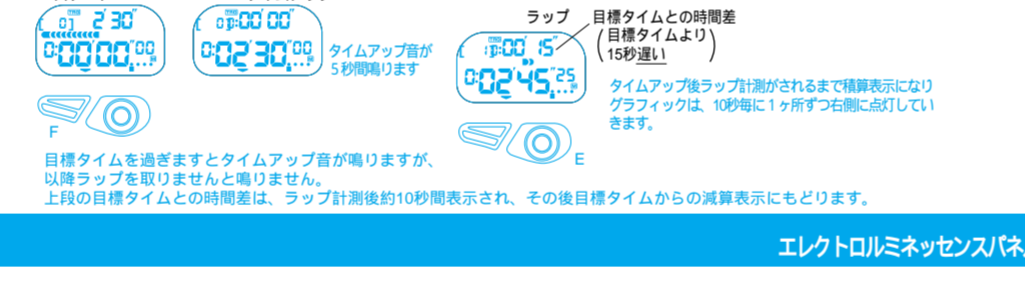
ボタンの名称と表示の切り替え

例：クロノグラフモード



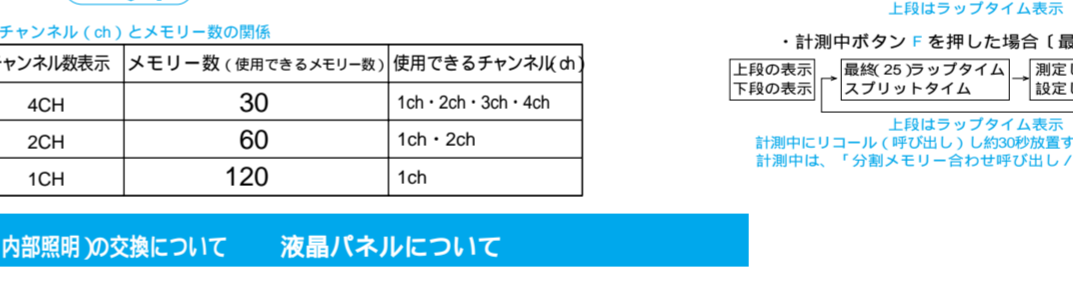
ボタンの名称と表示の切り替え

例：リコールモード



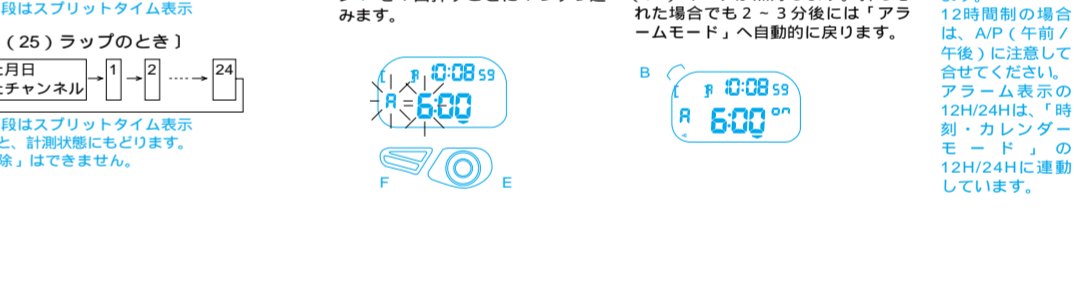
ボタンの名称と表示の切り替え

例：アラームモード



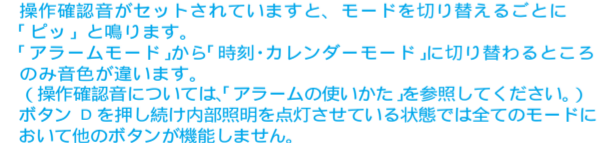
ボタンの名称と表示の切り替え

例：クロノグラフモード



アラームの使いかた

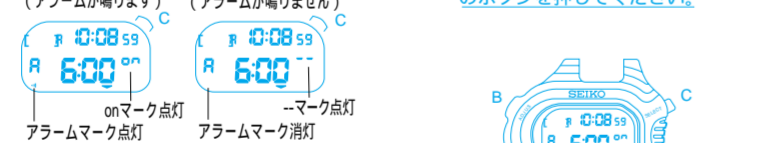
アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき。



操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。「アラームモード」から「時刻・カレンダーモード」に切り替わるところのみ音色が異なります。

アラームの使いかた

アラーム音を鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき。



ただし、ストップウォッチを使用中に鳴った場合はA B C Dいずれか1つのボタンを押してください。

アラームの使いかた

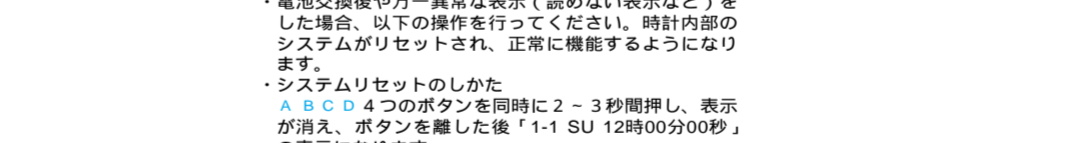
アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時並びに操作確認音のセットと解除をするとき。



ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約240時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。

アラームの使いかた

アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき。



ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約240時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。

アラームの使いかた

アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき。



電池交換後のお願い（システムリセット）

- 電池交換後や万一異常な表示（読めない表示など）をした場合、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。